

受賞技術	繊維補強モルタルによる栈橋鋼管杭の杭頭部補修技術
技術開発者	東亜建設工業株式会社 網野貴彦



受賞にあたって

この度は、栄誉ある国土技術開発賞の入賞を賜り、誠にありがとうございます。本技術の開発にあたり、ご指導、ご支援をいただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。私は港湾構造物の維持管理業務に 20 年弱ほど携わってきた中で、ここ最近では、港湾構造物の老朽化の現状を目の当たりにし、様々な劣化変状に対応できる新たな補修技術の開発が急務と感じておりました。これから我が国は少子高齢化という厳しい時代を迎え、既存のストックを最大限活用し長く使い続けるということを、これまで以上に強く意識していく必要があると思っています。本技術の開発には、岐阜大学國枝教授、東京工業大学岩波教授、及び海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所の加藤グループ長ほか関係者の皆様方の協力が無くして実現できませんでした。ここに改めて感謝申し上げます。

受賞後の動き

本技術は、過酷な海洋環境下に曝される栈橋という構造物に限定して適用できるものですが、栈橋は我が国の物流・人流において非常に重要な役割を担っております。また、栈橋の点検では海水面の上から行うことになるので、少しでも点検を簡略化または省力化することも意識した技術の開発が必要と思われます。本技術は、栈橋の構造上・耐久性上の弱点である上部工と鋼管杭の接合部の劣化を食い止められるようにしたものです。これまでに建設されてきた老朽化栈橋の延命化に少しでも貢献できるよう、本技術の普及に努めていくとともに、今後も高度化を図っていきたいと思います。